

令和3年度「新潟の産業・企業を知る講座」委託業務実施報告書

1 ビジネス演習

(1) 該当取組項目番号 ①：講演・講義

(2) 取組の目的

事業創造に関する基礎知識を修得し、起業に関する実践的な知識とノウハウを学ぶことを目的とする。

(3) 取組の内容

「ビジネス演習」は、新潟県内での起業プランを作成・発表することを通じて、起業のための基礎知識、および新潟県の産業や起業環境に関する基礎知識を修得することを目的とする科目である。同科目では、妻有ビール(株)高木千歩社長に加えて、下記2名の専門家による特別講義、およびビジネスプラン発表に対する審査講評を行った。

〔日程・登壇講師〕

(特別講義)

6月2日 講師 日本政策金融公庫長岡支店融資課長 工藤秀利氏
テーマ 「若者による創業事例と創業計画書」

6月16日 講師 妻有ビール(株) 代表取締役社長 高木千歩氏
テーマ 「私の起業体験 ― 志と過去・現在・未来」

6月23日 講師 柏崎商工会議所中小企業相談所長 阿部一昭氏
テーマ 「起業の基礎知識と柏崎における実際事例」

(審査講評)

7月28日 講師 妻有ビール(株) 代表取締役社長 高木千歩氏
講師 日本政策金融公庫長岡支店融資課長 工藤秀利氏
講師 柏崎商工会議所中小企業相談所長 阿部一昭氏

〔会場〕

新潟産業大学本館2階203教室

〔活動様子〕





(4) 参加学生・人数

6月2日 受講生（経済学部2～4年生） 9名、講師1名、担当教員1名 計11名
 6月16日 受講生（経済学部2～4年生）8名、講師1名、担当教員1名 計10名
 6月23日 受講生（経済学部2～4年生）8名、講師1名、担当教員1名、計10名
 7月28日 受講生（経済学部2～4年生）7名、講師3名、学長補佐・学部長・
 事務局長・担当教員：計14名

(5) 効果検証の結果

各回授業の終了後等にアンケートを実施し、本取組に伴う学生の意識変化を調査した。その結果、受講生13名のうち、毎回概ね半数の者から回答があり、「講師の特別授業により地域での起業事例に対する興味関心が強まったか」、「地域社会に根差したビジネスプラン策定に対する知識・発想等に関し得る点が大であったか」について質問したところ、肯定的意見（4点・5点）の評価が80%を超える結果となった。このことから、本取組により、受講生の多くが地域で新たに起業した事例や起業プランの作成に興味関心を喚起する効果があったことが確認された。

（本取組に対する受講生アンケート）

授業回	アンケート質問項目	アンケート結果(人数)					計	平均点
		全くそうではない 1点	あまりそうではない 2点	普通 3点	ある程度そうである 4点	非常にそうである 5点		
6/2	今回の授業に興味関心が強まったか？	1	1	0	2	5	9	4.0
6/16	今回の授業に興味関心が強まったか？	0	0	0	1	7	8	4.9
6/23	今回の授業に興味関心が強まったか？	2	0	1	2	3	8	3.5
7/28	あなたはこの授業を通して、知識・技能・発想等において得るところがありましたか？	0	0	0	1	6	7	4.9
計		3 9.4%	1 3.1%	1 3.1%	6 18.8%	21 65.6%	32 100.0%	4.3

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

学外向け広報として、ビジネスプラン発表会の様子や発表学生の感想等コメントを大学Webサイトの2021.8.11ニュースとして掲載した。また、ツイッター等SNSにもアップし、取組を紹介した。[\(https://www.nsu.ac.jp/12465/\)](https://www.nsu.ac.jp/12465/)

(Twitter 掲載：https://twitter.com/niigata_sandai/status/1420640135444533248)

2 新潟県における「地域未来牽引企業」の実態調査【地域理解ゼミナール】

(1) 該当取組項目番号 ① 講演・講義 ②企業見学

(2) 取組の目的

経済産業省が選定した地域未来牽引企業の中から、新潟県柏崎市の典型事例である上記企業を採り上げ、その実態（歴史、事業特徴、新潟県の経済における役割機能等）について知識を深める。

(3) 取組の内容

授業において地域未来牽引企業の定義、特徴、地域経済における役割を事前に学習するとともに、サイカワにおける典型的な地域未来牽引企業の概要調査・企業訪問等を通じて、その実態理解の深化を図った。

・〔日程・登壇講師〕①講師・講演

	実施日時・会場	企業名（内容）	役職・講師名	(4) 参加者数
1	・令和3年7月8日 (木) 2限：10:55～12:25 ・新潟産業大学本館2階203教室	(株)サイカワ 「(株)サイカワの経営理念と経営戦略」	総務課長 平田 秀俊 氏	13名
延べ合計数				13名

・〔日程・訪問企業・学習内容〕② 企業見学

	実施日	企業名（業種）	(4) 参加者
1	令和3年7月15日 (木)	(株) サイカワ（製造業）	13名
延べ合計数			13名

・〔活動様子〕





(5) 効果検証の結果

授業終了後にアンケートを実施し、県内企業等への理解や就職への興味関心を調査した。

その結果、参加者 13 名のうち全員から回答が得られ（各設問の集計結果は別紙のとおり）、「②インターンシップに参加したい」、「③友人等に紹介・発信したい」、「④さらに詳しく調べたい・話を聞きたい」とする肯定的回答が計 78%を占めたことから、この取組が「地域未来牽引企業」の実態を把握し地元優良企業に対する興味関心を喚起する上で効果があったことが確認された。

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

実施後は、大学 Web サイトへの掲載やツイッター等 SNS にもアップし、取組を PR する。写真や取組は、一部大学案内等広報誌でも活用する。

Twitter 掲載：

- ① 7 月 8 日 （講座）

https://twitter.com/niigata_sandai/status/1417375706611208193

- ② 7 月 15 日（企業訪問）

https://twitter.com/niigata_sandai/status/1417384276950085636

8 月 4 日（企業訪問） <https://www.nsu.ac.jp/12388/>

3 「まちづくり基礎」授業実施について

(1) 該当取組項目番号 ①講演・講義

(2) 取組の目的

地元産業全体の活性化のための地元企業が連携協力して立ち上げた事業体「明るい柏崎計画（株式会社AKKプラス）」の活動内容（災害防災ラジオ、#柏崎エール飯）と今後の展望などについて学ぶ

(3) 取組の内容

同団体のこれまでの活動内容と今後の展開、展望について講演いただき、その後質疑応答、意見交換などを行った。

〔日程・登壇講師〕

10月25日 講師 竹内 一公氏、長沢 智信氏

「地元企業の連携協力による新たな事業の創造」

〔会場〕

新潟産業大学本館2階203教室

〔取組様子〕



(4) 参加対象学生・人数

経済学部2～4年生（25名）

(5) 効果検証の結果

アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。参加者 25 名のうち 25 名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり)

参加者は 2 年生が 80.0%、3 年生が 12.0%、4 年生が 8.0%、また県内出身者が 60.0%、県外出身者 24.0%、留学生 16.0%だった。

講義の前は本団体を知らなかったという学生が 88.0%と大半を占めていたが、講義後、「さらに詳しく調べたい、話を聞きたい」が 56.0%、「友人等に紹介、発信したい」が 44.0%と半数前後の学生が興味関心を示しており、更には「インターンシップに参加したい」が 28.0%、「就職したい」という学生が 16.0%と、就職活動に直接つながる強い関心を示した学生も一定数いたという結果であった。企業の印象に残った点としては、「経営者の考えを理解できた」が 64.0%、「企業の商品・事業に興味をもった」が 60.0%と、登壇された経営者と、事業内容の両方に魅力を感じる学生が多かった。

また授業後に課した感想文では、「企業が自社の利益だけでなく、地域全体の活性化のために具体的な行動を起こしていることについて感銘を受けた」との感想が複数あげられた。

「これまで製造業にはあまり興味のなかったが、地域の企業の印象が変わり、進路の選択肢が増えた」という声もあり、地域の企業の創意工夫、可能性を感じることができ、地元企業、製造業への就職に対する興味関心が高まった様子が窺えた。

全体を通じて、学生の市内、県内企業への興味関心を高め、進路イメージを膨らませ、選択肢を増やすといった、多方面で大いに効果のある講義であったと言える。

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

実施後に大学 Web サイトへの掲載を行い、取組を PR した。

<https://www.nsu.ac.jp/13974/>

4 「地域振興論」授業実施について

(1) 該当取組項目番号 ①講座・講演 ②企業見学

(2) 取組の目的

地域振興の在り方について、総合的な視野から授業を行なう。教室での講義に加え、現場を目で見て学ぶことで、新潟県内への定住、就職促進に繋げる。

(3) 取組の内容

① 講座・講演

教室での講義は、本学の教員に加え、外部講師を含む様々な業界の講師によるオムニバス方式で実施した。学生は地域振興の現状や取組について講義を受け、地域への理解を深めた。講義終了後にはそれぞれの講師から課題が出され、学生はその解答をレポートとして提出することで、講義内容を深く理解し、地域で生活・就職することの意義等を学んだ。

※講義の日程・登壇講師については下記一覧表を参照。

〔日程・登壇講師〕①講師・講演

〔会場〕新潟産業大学本館 2階 202 教室

実施日	テーマ	講師	(4)受講者数
10/1 (金)	ワーク・ライフ・バランス	パジュブレーション株式会社 専務取締役 小田 芽実氏	68名
11/12 (金)	地域創生における地域金融機関の役割	株式会社 第四北越銀行 コンサルティング事業部 長岡地区統括 担当部長 小林 幹央 氏	66名
11/26 (金)	スポーツ・ツーリズム産業	PVK 株式会社 代表取締役社長 入澤 勇太 氏	60名
12/10 (金)	株式会社ブルボン 企業紹介 企業の CSR 活動	株式会社ブルボン 統合企画部 CSR 統合企画室 室長 小保方 薫 氏	70名
12/17 (金)	十日町市 農業で起業に挑戦	株式会社 雪の日舎 代表取締役 佐藤 可奈子 氏	62名
1/7 (金)	ものづくりの歴史と企業誘致	柏崎市産業振興部 ものづくり振興課 課長 伊藤 明紀 氏	54名
1/14 (金)	食で繋ぐ観光	有限会社 la Luce e L'ombra 代表取締役、 里山カフェオーナーシェフ 西村 遼平 氏	70名
講座・講演		延べ受講者数	450名

② 企業見学

新潟県内の企業、自治体等を実際に訪れるフィールドワークを実施した。いずれも現地にて事業内容の説明を受け、業務の見学を行った。訪問先では現地担当者との質疑応答等を通じて、企業等の業務や、仕事に対する考え方、地域との関わり方などを学び、地域で企業がどのような活動をしているか、地域で就職することの意義とは何か、などを学習した。

※フィールドワークの詳細については下記一覧表を参照。

〔日程・訪問企業〕②企業見学

期日	フィールドワーク先	スケジュール	(4)参加者数
10/8 (金)	株式会社 テック長沢 新潟県柏崎市田塚3丁目3-38	13:15 大学出発 13:40 見学開始 14:20 見学終了 14:40 大学着	12名
10/22 (金)	マルソー株式会社 長岡新産 SLC 新潟県長岡市南七日町53	12:40 大学出発 13:30 見学開始 14:10 見学終了 14:50 大学着	13名
11/5 (金)	株式会社 阿部建設 新潟県柏崎市比角2丁目3-26	13:00 大学出発 13:30 見学開始 14:20 見学終了 14:50 大学着	13名
11/19 (金)	石地わさび園 新潟県柏崎市西山町大崎1788-6	12:40 大学出発 13:20 見学開始 14:10 見学終了 14:50 大学着	17名
12/3 (金)	柏崎市消防本部 新潟県柏崎市三和町8番51号	13:15 大学出発 13:30 見学開始 14:20 見学終了 14:45 大学着	20名
12/4 (土)	朝日酒造株式会社 新潟県長岡市朝日1880-1	12:45 大学出発 14:00 見学開始 15:30 見学終了 16:20 大学着	10名
企業見学		延べ参加者数	85名

(4) 参加対象学生・人数

※ 参加者の詳細については一覧表も参照のこと

(5) 効果検証の結果

①「新潟の産業・企業を知る講座」アンケートについて

効果検証の方法としては、授業に関するアンケートを実施して、県内企業等への理解や、就職への興味・関心の変化等について調査した。アンケートは授業進行上の事情で12月17日に実施し、当日参加者62名のうち50名から有効な回答が得られた。回答のうち、「企業見学に参加したことで県内企業への興味関心が高まったか」という問いには、肯定的な回答が90%を占めた（「高まらなかった」という否定的解答を除いた数字）。「印象に残った企業」には、殆どの訪問先が万遍なく回答に挙げられた。「企業見学に参加した感想」としては、「見学に参加して、就職について考えるようになった」との回答が最も多く得られた。以上のことから、この取組によって県内企業への興味関心が高まり、学生が就職を意識する良い機会が提供されたと考えられる。また、「卒業後の希望就職先」として「県内」を肯定的に考えている者が80%という結果が得られており、県内就職への意識を高めるという点で、当該授業が一定の役割を果たしたことが確認できた。

②大学独自の授業アンケートについて

本学では①に加えて、大学独自の授業アンケートも実施した（座学のみ対象のアンケート。下記一覧表を参照）。アンケートは①を踏襲して県内企業等への理解や就職への興味・関心等を問うものとなっており、次のような結果が得られた。まず、設問のうち「Q4.あなたはこの授業を受けて、地域に対する考え方が変化しましたか？」という問いには、肯定的な回答が74%を占めた（「大いにそうである」「そうである」を合計した数字）。また、「Q5.あなたはこの授業を受けて、就職に対する意識が高まりましたか？」という問いには、肯定的な回答が78%であった（同上）。以上のことから、この授業によって新潟県・柏崎地域への興味関心が高まり、学生が就職を意識する良い機会が提供されたといえる。

これらのアンケート結果から、当該授業は、県内企業への関心を高め、地域企業への就職の意識を高めるという点で、一定の役割を果たしたといえる。今後も、当該授業では県内就職・定住へと繋がる取組みをさらに推し進める予定である。

◆大学独自の授業アンケート（座学のみ）◆

【設問】

- Q1.あなたはこの授業を受けて、その内容を理解できましたか？
- Q2.あなたはこの授業のテーマについて、関心を持ちましたか？
- Q3.あなたはこの授業のテーマについて、理解が深まりましたか？
- Q4.あなたはこの授業を受けて、地域に対する考え方が変化しましたか？
- Q5.あなたはこの授業を受けて、就職に対する意識が高まりましたか？

2021地域振興論 各回アンケート																										
授業実施日	回答枚数	Q1					Q2					Q3					Q4					Q5				
		大いに そうである	そう である	どちら ともい えない	そう では ない	全く そう では ない	大いに そうである	そう である	どちら ともい えない	そう では ない	全く そう では ない	大いに そうである	そう である	どちら ともい えない	そう では ない	全く そう では ない	大いに そうである	そう である	どちら ともい えない	そう では ない	全く そう では ない	大いに そうである	そう である	どちら ともい えない	そう では ない	全く そう では ない
2021年10月1日	52	22	25	5		22	23	6		22	24	5		6	15	13	14	3	17	22	10	1	1			
2021年11月12日	52	27	23	2		23	23	6		28	20	4		19	18	12	3		23	15	13	1				
2021年11月26日	58	27	23	4	3	1	26	25	5	1	1	22	30	5		1	20	28	9		1	18	22	15	2	1
2021年12月10日	55	32	18	2	2	1	34	13	6	1	1	33	16	3	1	2	27	14	11	1	2	23	20	10		2
2021年12月17日	54	30	21	2	1		29	18	6	1		31	18	3	1	1	29	14	7	2	2	25	18	9		2
2022年 1月7日	49	25	20	3		1	20	21	7		1	20	24	4		1	20	21	7	1		21	18	8		2
2022年 1月14日	55	31	22	2			30	20	5			27	24	4			19	29	7			29	20	5		1
	375	194	152	20	6	3	184	143	41	3	3	183	156	28	2	5	140	139	66	21	8	156	135	70	7	6
		52%	41%	5%	2%	1%	49%	38%	11%	1%	1%	49%	42%	7%	1%	1%	37%	37%	18%	6%	2%	42%	36%	19%	2%	2%

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

実施後に、大学 Web サイトへの掲載・大学の公式 Twitter への掲載、地元新聞への記事掲載、学外向け広報誌への掲載等を行い、情報発信を行った。フィールドワークに参加した学生の感想コメントや、講義の概要の紹介などを掲載した。

①大学 Web サイトへの掲載

- ・ 講座・講演：<https://www.nsu.ac.jp/13792/>
- ・ 企業見学：<https://www.nsu.ac.jp/13621/>

②大学公式 Twitter 掲載

- ・ 11/5 株式会社 阿部建設
https://twitter.com/niigata_sandai/status/1457585482833952775
- ・ 12/3 柏崎市消防本部
https://twitter.com/niigata_sandai/status/1466695254099509254

③地元紙（柏崎日報）への掲載

- ・ 2022.11.30（火）付け（4ページ）
『地域に学び地域をおこす 「地域振興論」で企業を訪ねる』
※株式会社 阿部建設の訪問レポートを掲載

④学外向け広報誌への掲載

- ・ 新潟産業大学「地域連携シーズ集」（近日刊行予定）への授業紹介記事の掲載
『「地域振興論」の取組みについて - 「新潟の産業・企業を知る講座」 -』

5 「地域に学び地域をおこす」地域実践教育プログラム

(1) 該当取組項目番号 ①：講演・講師 ②企業見学

(2) 取組の目的

講座とフィールドワークを連動させ、学内だけに留まらず、地域企業・地域コミュニティなどと協働し、将来社会に求められる地域のリーダー育成を目的とする。

(3) 取組の内容

1、2年次では、必修の「地域理解ゼミナールⅠ～Ⅳ」を中心とした地域理解科目群を配置し、理論と実践を連動させ、地域おこしのための6分野（①地域経済政策、②地域企業経営、③地域観光・スポーツ、④地域農業・6次産業、⑤地域文化、⑥コミュニティ・まちづくり）について、フィールドワークを活用しながら地域の産業や文化についての理解を深める。1年次は1年間を通じて学部生全員が共通で上記6分野をまんべんなく学び、2年次では学期毎に興味のある1分野（1年間で2分野）を選択し、グループでの学びを通じて深堀りをする。学期末には合同発表会を開催し、各分野での調査研究や活動成果を報告する。

3、4年次では、経済経営学科、文化経済学科それぞれの専門分野毎に開講される「地域活性ゼミナールⅠ～Ⅳ」を中心とした地域活性科目群が配置されており、1、2年次で学んだ知識と経験をもとに、より専門的な学びと地域連携活動を通じて「地域に学び地域をおこす」人材の育成、地域社会に地域のリーダーを輩出することを目指している。

・〔日程・登壇講師〕①

	実施日・会場	企業名（内容）	役職・講師名	(4) 受講者数
1	・令和3年10月20日(水) 2限：10:55～12:25 ・新潟産業大学本館3階 303教室	岩塚製菓株式会社 「岩塚製菓の歴史、 経営方針と企業業 績」	経営管理部総務課長 融資課長 山本博丈氏 経理課長 渡邊 敦 氏	学生：9名 講師：2名 担当教員1名
延べ受講者数				12名

・〔取組様子〕





(5) 効果検証の結果

受講生に対するアンケートを実施し、本取組に伴う学生の意識変化を調査した。その結果、受講生9名のうち5名から回答があり、「あなたはこの授業を通して、知識、ものの考え方、コミュニケーション・討論の仕方、独習能力 等において得るところがありましたか。」に関する質問に対し、「大いにそうである」が60%、「そうである」が40%を占めたことから、本取組により、専門的な学びと地域連携活動を通じて「地域に学び地域をおこす」人材の育成に効果があったことが確認された。

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

学外向け広報として、見学の概要を新潟産業大学公式ツイッターのページに掲載した。

https://twitter.com/niigata_sandai/status/1486610436887744514

〔日程・訪問企業〕②：企業見学

担当	実施日	実施段階での見学先（変更後）／情報発信	(4) 参加者数
春日	10月14日	<p>松雲山荘・木村茶道美術館 【地域観光・スポーツ分野】（柏崎市） (5) 効果検証の結果 アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。参加者14名の全員から回答を得られた。（各設問の集計結果は別紙のとおり）訪問後さらに詳しく調べたい33.3%、企業の事業に興味をもった50.0%であったことから、この取組みが関心を高めるために効果があることがわかった。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 https://twitter.com/niigata_sandai/status/1448841889965166598 https://www.nsu.ac.jp/13652/</p>	<p>学生：14名 教員：1名</p>

春日	10月19日	<p>小清水 イーリーカフェ</p> <p>【地域観光・スポーツ分野】(柏崎市)</p> <p>(5) 効果検証の結果</p> <p>参加者8名の全員から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり) 訪問後、友人等に紹介・発信したい38.9%、企業の事業に興味を持ったが37.5%であったことから、この取組みが関心を高めるために効果があることがわかった。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果</p> <p>https://twitter.com/niigata_sandai/status/1486584507599704065</p>	<p>学生：8名</p> <p>教員：1名</p>
権田	10月21日	<p>柏崎中心街地まちあるき</p> <p>【コミュニティ・まちづくり分野】(柏崎市)</p> <p>(5) 効果検証の結果</p> <p>アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。</p> <p>参加者11名のうち11名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり)「講座前、柏崎市内中心市街地をまちあるきしたことがある」という学生は2名(11.8%)であったが、実施後に「柏崎市内中心市街地について様々な情報が得られた」学生が9名(81.8%複数回答)であった。また、印象に残った市街地(エリア、施設など)とその理由についての回答では、商店街全体のシャッター通り化、活気のなさ、イトーヨーカード跡地の有効活用等、参加者各々が地域の課題を考えながら地域を歩くことができた様子が窺えた。今回は地域の方の講師はお招きせず、担当教員による解説で実施したが、今後様々な企業、施設等の見学を実施する際の地域課題を考える視点を身につけるといって市内、県内で働くことへの課題意識、理解を深めることが期待できる取組みであったと言える。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果</p> <p>実施後に大学Webサイトへの掲載を行い、取組をPRした。</p> <p>https://www.nsu.ac.jp/13652/</p>	<p>学生：11名</p> <p>教員：1名</p>
青木	10月28日	<p>柏崎市立博物館</p> <p>【地域経済政策分野】(柏崎市)</p> <p>(5) 効果検証の結果</p> <p>アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。</p> <p>参加者9名のうち9名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり。) 問5の質問「印象に残った企業」で、「中越地方の歴史・文化・産業を理解した」、もしくは「この施設(博物館)に興味をもつ</p>	<p>学生：9名</p> <p>教員：1名</p>

		<p>た」割合が合わせて 89%であったことから、この取組が中越地方の歴史・文化・産業の理解のために効果があることがわかった。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果</p> <p>学外向け広報として、見学の概要を新潟産業大学公式ツイッターのページに掲載した。</p> <p>https://twitter.com/niigata_sandai/status/1458355207864160257</p>	
今村	11月11日	<p>株式会社最上屋工場</p> <p>【地域企業経営分野】(柏崎市松波)</p> <p>(5) 効果検証の結果</p> <p>最上屋工場見学参加者は12名、次項のノマタ酒店見学参加者は14名であった。2か所の見学実施後、参加者アンケートを行って、11名の回答があった。2年生が10名、3年生が1名である。</p> <p>また県内出身者は7名、県外出身者は4名である。</p> <p>「事前に見学先企業を知っていたか?」については、「知っている企業があった」が9名、「まったく知らなかった」が2名であった。「見学後、当該企業について思ったこと(複数回答可)」では、「さらに詳しく調べたい、話を聞きたい」が6名、「友人等に紹介・発信したい」が6名、「就職したい」が2名、「インターンシップに参加したい」が2名であった。</p> <p>「印象に残った企業」としては、最上屋が8名、ノマタ酒店が3名であり、理由としては「経営者の考え方が理解できた」が9名、「社員とのコミュニケーションができた」が2名であった。</p> <p>以上から、今回の見学を通じて、地域企業や経営者に対して関心が高まったり、また一部の学生では就職やインターンシップへの興味が増したことがうかがえる。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果</p> <p>実施後に大学 Web サイトへの掲載を行い、取組を PR した。</p> <p>https://www.nsu.ac.jp/13825/</p>	<p>学生：14名</p> <p>教員：1名</p>
今村	11月18日	<p>ノマタ酒店</p> <p>【地域企業経営分野】(柏崎市西本町)</p> <p>(5) 効果検証の結果</p> <p>前項(11月11日)の見学と合わせて、事後アンケートを実施して効果を検証した。前項の記述をご参照ください。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果</p> <p>実施後に大学ツイッターへのアップを行い、取組を PR した。</p> <p>https://twitter.com/niigata_sandai/status/1461493071959375874</p>	

青木	11月18日	<p>アクシアル・リテリング 原信</p> <p>【地域経済政策分野】(長岡市)</p> <p>(5) 効果検証の結果 アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。 参加者10名のうち4名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり。)問5の質問「印象に残った企業」で、「経営者の考えを理解できた」、もしくは「企業の商品・事業に興味をもった」、もしくは「もともと興味があった」割合が合わせて100%であったことから、この取組が訪問企業の理解のために効果があることがわかった。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 学外向け広報として、見学の概要を新潟産業大学公式ツイッターのページに掲載した。 https://twitter.com/niigata_sandai/status/1486584507599704065</p>	<p>学生：10名</p> <p>教員：1名</p>
大石	11月25日	<p>かしわざき市民活動センターまちから</p> <p>【地域企業経営分野】(柏崎市)</p> <p>アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化について調査した。参加者15名のうち14名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり)</p> <p>「講座前に参加企業を知らなかった」が100%であり、「友人などに紹介・発信したい」が50%であったことから、この取り組みが地域の企業支援や地域活性化についての理解を得るために効果があることがわかった。地域での起業事例や代表者の地域を良くしていくための組織運営を知ることによって、地域と企業の関わりについて考えるきっかけとなった。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 学外向け広報として、講演の概要及び参加学生のコメントを大学HP内に掲載した。https://www.nsu.ac.jp/13825/</p>	<p>2年生15名</p> <p>教員：1名</p>
権田	12月2日	<p>かしわざき市民活動センターまちから</p> <p>【コミュニティ・まちづくり分野】(柏崎市)</p> <p>(5) 効果検証の結果 アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。参加者17名のうち9名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり)</p> <p>訪問前に同施設を知っていたのは県内出身者のみで全体の33%であったが、訪問後には県内外出身者合わせて「さらに詳しく調べたい・話を聞きたい」が66.7%であったことから、市内にこのような施設があること、ここで働く方々の仕事について興味を持ってくれた様子が窺えた。「印象に残った理由」としては「社員とのコミュニケーションができた」が44%で最も多く、学生と比較的年齢の近い地元出身の職</p>	<p>学生：17名</p> <p>教員：1名</p>

		<p>員の方の説明に親しみを感じていたようである。また授業後に課した感想文では、「まちから」で働くことと、「まちから」に支援してもらって地域で「やりたいことを仕事にする」ことの2重の意味で、今回の訪問を通じて市内、県内で働くことに対する興味関心が高まっていた様子が窺えた。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 実施後に大学 Web サイトへの掲載を行い、取組を PR した。 https://www.nsu.ac.jp/13825/ また、訪問の様子を写真付きで公式ツイッターに掲載した。 https://twitter.com/niigata_sandai/status/1486584507599704065</p>	
黒岩	12月2日	<p>柏崎市役所 【地域経済政策分野】(柏崎市)</p> <p>(5) 効果検証の結果 授業終了後にアンケートを実施し、取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。参加者9名のうち9名から回答を得られた。「印象に残った企業(官公庁含む)」に当該訪問先を選んだ者が約90%、「さらに詳しく調べたい・話を聞きたい」が約80%であったことから、この取組が柏崎市への関心を高めるきっかけとなり、行政も含めた地域に対する理解を深める効果があったと考えられる。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 学外向け広報として、訪問の概要及び当日の様子を大学 HP 内のニュースページに掲載した。 (https://www.nsu.ac.jp/13825/) また、訪問の様子を写真付きで公式ツイッターに掲載した。 (https://twitter.com/niigata_sandai/status/1486584507599704065)</p>	<p>学生：9名 教員：1名</p>
青木	12月4日	<p>スワダ製作所 【地域経済政策分野】(三条市)</p> <p>(5) 効果検証の結果 アンケートを実施し、本取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。 参加者6名のうち4名から回答を得られた。(各設問の集計結果は別紙のとおり。) 問5の質問「印象に残った企業」で、「経営者の考えを理解できた」、もしくは「企業の商品・事業に興味をもった」、もしくは「もともと興味があった」割合が合わせて100%であったことから、この取組が訪問企業の理解のために効果があることがわかった。</p>	<p>学生：6名 教員：1名</p>

		<p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 学外向け広報として、見学の概要を新潟産業大学ホームページの地域理解ゼミナールⅣのページに掲載した。 https://www.nsu.ac.jp/13825/</p>	
黒岩	12月9日	<p>柏崎信用金庫 本店 【地域経済政策分野】(柏崎市)</p> <p>(5) 効果検証の結果 授業終了後にアンケートを実施し、取組前後の学生の意識や行動の変化等について調査した。参加者12名のうち10名から回答を得られた。「さらに詳しく調べたい・話を聞きたい」が約70%であり、「企業の商品・事業に興味をもった」「インターンシップに参加したい」といった回答も目立ったことから、この取組が当該企業と地域への関心を高め、就職への意識を高める効果があったことがわかった。</p> <p>(6) 取組実績に係る情報発信の結果 学外向け広報として、訪問の概要及び当日の様子を大学HP内のニュースページに掲載した。 (https://www.nsu.ac.jp/13825/)</p>	<p>学生： 12名 教員： 1名</p>

(5) 表内に記載

(6) 表内に記載

他、大学会報誌「SEIGAIHA 青海波 2022 vol.35」5ページ「産大の授業をズーム！」～教務の話～ 「地域理解ゼミナールとは」に掲載。在学生、保護者、教職員、市内のコミュニティセンター、本学在学生の出身高校に配布しPRした。

さらに、新潟地域コミュニティの取組である「新潟地域志向科目」のパンフレットとチラシを作成し県内高校生、在学生に周知する予定である。

(今年度参照) <https://www.nsu.ac.jp/digitalpanflet/>

(令和4年度バージョンは4月上旬にアップする予定)

6 新潟県内企業見学ツアー

(1) 該当取組項目番号 ②企業見学

(2) 取組の目的

就職活動を意識し実践する段階から県内企業を訪問する中で、県内の企業を身近に感じ、県内への就職を考える機会と捉えることを目的とする。

(3) 取組の内容

就職活動を主に2～3年生を対象とし、県内の上越エリア、中越エリア、柏崎市内企業を見学し、職に就くことへの意識を高め、就活に対するモチベーション向上と県内就職に対する意識を醸成する。経営者、若手社員との懇談の時間を設定し、企業運営や働くことの意義等を肌で感じる機会とする。

・〔日程・訪問企業〕

実施日	見学先	(4) 参加者数等
9月16日(木) 9:00～16:50	① 新潟太陽誘電株式会社(上越市)	13名 (3年生:10名、2年生:3名)
	② ワタナベグループ(株)渡辺リネン前川工場(長岡市)	

・〔取組様子〕



新潟太陽誘電(株)で概要説明を聞く様子



新潟太陽誘電(株)社屋前



(株)渡辺リネン前川工場で概要説明を聞く様子



(株)渡辺リネン前川工場社屋前

(4) 参加学生数

経済学部 3 年生 10 名 経済学部 2 年生 3 名

(5) 効果検証の結果

ツアー開始前にガイダンスを実施し、ツアー後にアンケートを実施することで、ツアー前と後での意識の変化、県内企業への就職希望について調査する。7月30日(金)に参加者を集め事前ガイダンスを実施した。企業訪問のスケジュール、心得などについて説明した。

また、ワークシートを作成し、訪問企業2社の事業内容、質問事項等を予め記入し、事前に企業について知った上で訪問し、訪問前と後での気づきを大切にすることを強調した。

訪問直後にアンケート調査を実施した結果、ホームページ等での情報だけでなく、直接企業を見聞きして空気感を味わうことが重要であること、インターンシップ等に参加することの重要性に気づいたなどの回答が多かった。参加者の内38%が県外出身者であったが、県内企業に対する興味・関心が高まったと回答した学生が参加者の85%という結果となった。

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

実施後に大学 Web サイトへの掲載、地元地方新聞記事への掲載等を行い取組を PR した。

大学ホームページ内の 2021.09.24 ニュースとして掲載した (<https://www.nsu.ac.jp/12961/>)

柏崎日報 2021.10.04 付け連載コラム「新潟産業大学 地域に学び地域をおこすー実践活動レポートー」に掲載。

7 新潟県の産業・企業を知る講座

(1) 該当取組項目番号 7/9 : ④ 7/19 : ① 11/29④

(2) 取組の目的

卒業生や人事採用担当者から直接事業内容や社会人として求められること、大学在学中に準備すべきことを伺い、県内企業の魅力を発信し、地元就職につなげるとともに、卒業後を見据えた学生生活の過ごし方・就職活動への具体的な準備への意識付けを図ることを目的とする。

(3) 取組の内容

キャリアデザインⅠ及びⅡでは、パネルディスカッション形式により、県内企業で活躍する本学卒業生から現在の業務内容ややりがい、在学中の就職活動の取り組みや学生時代に身につけておくべきことなどの話を伺い、県内企業の魅力を伝えるとともに、卒業後の進路を見据えた学生生活の過ごし方についての理解と意識高揚につなげた。キャリアデザインⅠ（7/9 実施・1年生対象）では、「職業選択の考え方や過ごし方が具体的にイメージできた」「実際に県内企業へのインターンシップに参加してみたいと思った」といった声が多く聞かれた。

キャリアデザインⅡ（11/29 実施・2年生対象）では、「面接で在学中の取り組みを聞かれることが多く、しっかりアピールできる学生生活にする必要があると思った」「地元企業への理解が深まり、幅広い業種を検討してみたいと感じた」という感想が多かった。

キャリアデザインⅢ（7/19 実施・3年生対象）では、県内企業の人事採用担当者を招へいし、パネルディスカッション形式で、各企業の事業内容や仕事のやりがいと魅力、採用したい学生の人物像、大学時代に備えてほしいことなどをテーマに話を聞き、質疑応答を適宜交えて進めた。参加した学生からは「採用する側の視点を感じて、とても充実した時間だった」「思っていた業界のイメージが変わり、自分の業界研究が浅いと思った」といった就活生らしい声が聞かれた。

・〔日程・参加企業〕①講座・講演

実施日・会場	実施科目名	参加企業
・7月9日（金） ・新潟産業大学本館2階202教室	キャリアデザインⅠ	長岡中央青果(株) 果実部 山田 昇 氏（2013年度卒）
		蒲原ガス(株) 営業部営業課 本間 陽子 氏（2018年度卒）
		(株)グリーンライフ 営業2部1課 五十嵐 滉貴 氏（2019年度卒）
		(株)ホンダ四輪販売長岡 喜多町店 営業 鷺頭 一敬 氏（2019年度卒）
・7月19日（月） ・新潟産業大学本館2階202教室	キャリアデザインⅢ	アークランドサカモト(株) 総務部 人事給与 前田 侑也 氏
		スワロー工業(株) 経営企画部経営企画課 近藤 俊樹 氏
		柏崎信用金庫 総務部 熊木 夏実 氏
		NTT イーストラテクノス(株) 管理部 富岡辰徳 氏
・11月29日（月） ・新潟産業大学本館2階202教室	キャリアデザインⅡ	(株)マルタケ（医薬品商社）行田 宏平氏（2019年度卒）
		柏崎信用金庫（協同組織金融業）小竹 莉奈氏（2019年度卒）
		(株)トクサイ（金属「伸線」加工業）壘 幸輝氏（2019年度卒）
		第一生命保険 新潟支社（保険業）加賀田 祐佳氏（2017年度卒）

(5) 効果検証の結果

キャリアデザインⅠ（7/9実施）では、1年生を対象としているため、参加企業を知らない学生が半数を占めたが、終了後のアンケートでは、74%の学生が県内企業への関心が高まったと回答している。

キャリアデザインⅡ（7/19実施）では、2年生が対象で、参加企業の内一つでも知っているという回答した学生が89%にのぼり、企業への関心度も高まっている結果となった。終了後には87%の学生が、関心が高まったと回答していることから、講座の有効性が実証されている。

キャリアデザインⅢ（11/29実施）では、就活生が対象であるため、88%の学生が招へいした企業について知っており、9割近い学生から「県内企業への関心が高まった」という回答が得られた。また、9割以上の学生が、就職活動の中で、参加した企業への接触を考えたいという結果となった。以上のことから、実社会で働く卒業生や人事担当者の意見や考えに触れる今講座は、就職活動への十分な啓発と学生生活を見直すことに結びついていると考えられる。

(6) 取組実績に係る情報発信の結果

講義終了後に大学のHPで事業内容及び学生の反応、参加した企業側の感想などを掲載し、事業の成果報告とした。

◆7/9 キャリアデザインⅠ

大学ホームページ内の2021.07.26ニュースとして掲載した。

(<https://www.nsu.ac.jp/12302/>)

Twitter掲載：https://twitter.com/niigata_sandai/status/1417376092277534720

◆7/19 キャリアデザインⅢ

大学ホームページ内の2021.07.27ニュースとして掲載した。

(<https://www.nsu.ac.jp/12288/>)

Twitter掲載：https://twitter.com/niigata_sandai/status/1417376092277534720

◆11/29 キャリアデザインⅡ

大学ホームページ内の2021.011.29ニュースとして掲載した。

<https://www.nsu.ac.jp/13387/>